

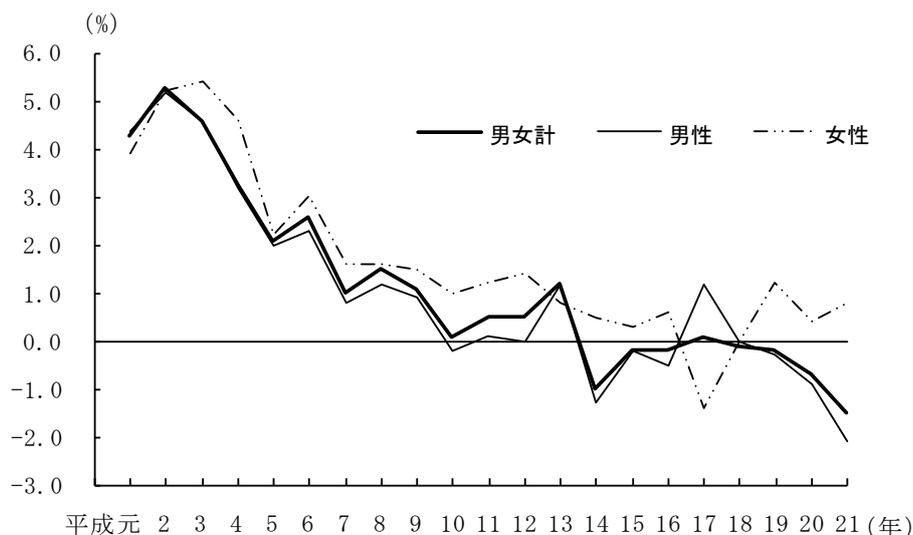
## II 調査結果の概況

### 1 一般労働者の賃金

#### (1) 賃金の推移

賃金は、男女計294.5千円(平均41.1歳、勤続11.4年)、男性326.8千円(平均42.0歳、勤続12.8年)、女性228.0千円(平均39.4歳、勤続8.6年)となっており、前年と比べると、男女計では1.5%、男性では2.1%それぞれ低下し、女性では0.8%上昇している(第1図、第1表)。

第1図 性別賃金の対前年増減率の推移



第1表 性別賃金及び対前年増減率の推移

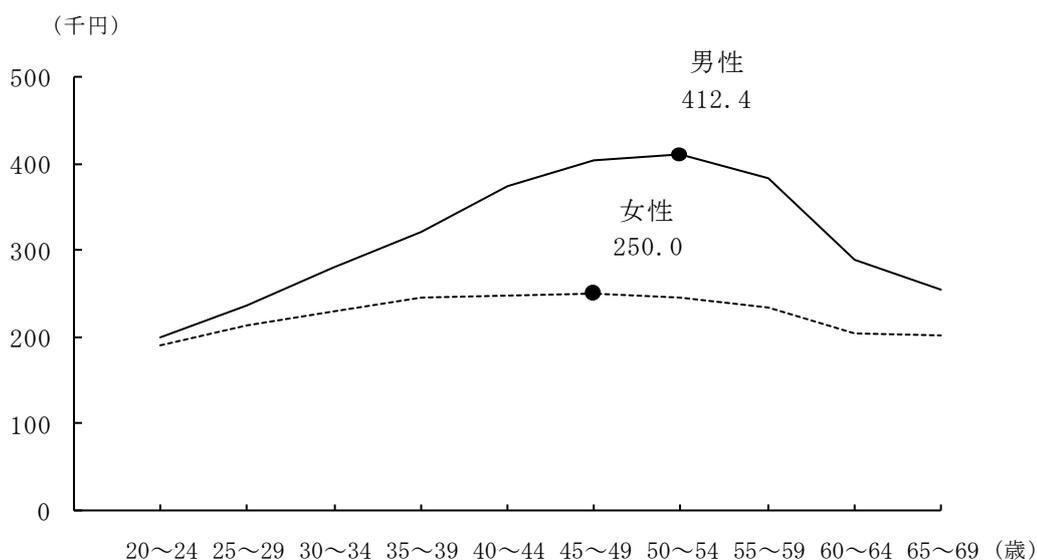
年	男女計		男性		女性	
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)
平成元年	241.8	4.3	276.1	4.4	166.3	3.9
2	254.7	5.3	290.5	5.2	175.0	5.2
3	266.3	4.6	303.8	4.6	184.4	5.4
4	275.2	3.3	313.5	3.2	192.8	4.6
5	281.1	2.1	319.9	2.0	197.0	2.2
6	288.4	2.6	327.4	2.3	203.0	3.0
7	291.3	1.0	330.0	0.8	206.2	1.6
8	295.6	1.5	334.0	1.2	209.6	1.6
9	298.9	1.1	337.0	0.9	212.7	1.5
10	299.1	0.1	336.4	-0.2	214.9	1.0
11	300.6	0.5	336.7	0.1	217.5	1.2
12	302.2	0.5	336.8	0.0	220.6	1.4
13	305.8	1.2	340.7	1.2	222.4	0.8
14	302.6	-1.0	336.2	-1.3	223.6	0.5
15	302.1	-0.2	335.5	-0.2	224.2	0.3
16	301.6	-0.2	333.9	-0.5	225.6	0.6
17	302.0	0.1	337.8	1.2	222.5	-1.4
18	301.8	-0.1	337.7	-0.0	222.6	0.0
19	301.1	-0.2	336.7	-0.3	225.2	1.2
20	299.1	-0.7	333.7	-0.9	226.1	0.4
21	294.5	-1.5	326.8	-2.1	228.0	0.8
平成21年						
平均年齢(歳)	41.1		42.0		39.4	
勤続年数(年)	11.4		12.8		8.6	

## (2) 性別にみた賃金

性別に賃金カーブ\*をみると、男性では、年齢階級が高くなるとともに賃金も上昇し、50～54歳で412.4千円（20～24歳の賃金を100とすると207）と賃金がピークとなり、その後下降している。女性では、45～49歳の250.0千円（同132）がピークとなっているが、男性に比べ、賃金カーブは緩やかとなっている。（第2図、第2表）

※賃金カーブとは、年齢(階級)とともに変化する賃金額の状況をグラフで表したものをいう。以下同じ。

第2図 性、年齢階級別賃金



注：線上の●印は賃金ピークを示す。以下同じ。

第2表 性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

年齢階級	男性			女性		
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20~24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20~24歳 =100)
年齢計	326.8	-2.1	164	228.0	0.8	120
20~24歳	199.7	-2.3	100	189.8	-0.5	100
25~29	237.8	-2.1	119	214.1	-0.4	113
30~34	280.1	-2.2	140	230.3	-0.2	121
35~39	322.0	-3.6	161	245.4	0.5	129
40~44	374.4	-2.7	187	248.8	-1.2	131
45~49	406.2	-1.9	203	250.0	2.6	132
50~54	412.4	-2.2	207	245.2	2.0	129
55~59	385.5	-2.4	193	233.4	1.9	123
60~64	288.8	0.2	145	203.3	2.3	107
65~69	254.3	-0.2	127	201.8	4.4	106
平均年齢(歳)	42.0			39.4		
勤続年数(年)	12.8			8.6		

注：年齢計には、上掲の年齢階級に限らず、すべての年齢の者を含む。以下同じ。

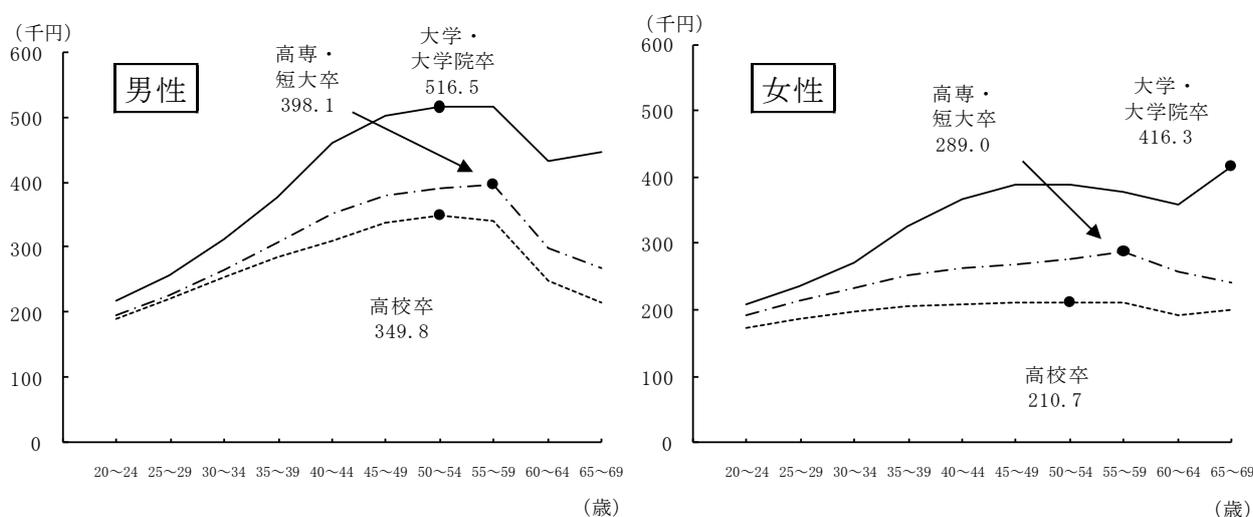
### (3) 学歴別にみた賃金

学歴別に賃金をみると、男性では、大学・大学院卒が396.7千円（前年比0.7%減）、高専・短大卒が295.9千円（同3.5%減）、高校卒が287.2千円（同3.3%減）となっており、すべての学歴で前年を下回っている。一方、女性では、高専・短大卒が241.2千円（同1.0%減）、高校卒が200.0千円（同0.3%減）で前年を下回っている。

学歴別に賃金がピークとなる年齢階級をみると、男性では、大学・大学院卒及び高校卒で50～54歳、高専・短大卒で55～59歳、女性では、大学・大学院卒で65～69歳、高専・短大卒で55～59歳、高校卒で50～54歳となっている。

学歴別に賃金カーブをみると、男女いずれも大学・大学院卒の賃金カーブが急となっており、男性は女性に比べてその傾向が大きい。（第3図、第3表）

第3図 学歴、性、年齢階級別賃金



第3表 学歴、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

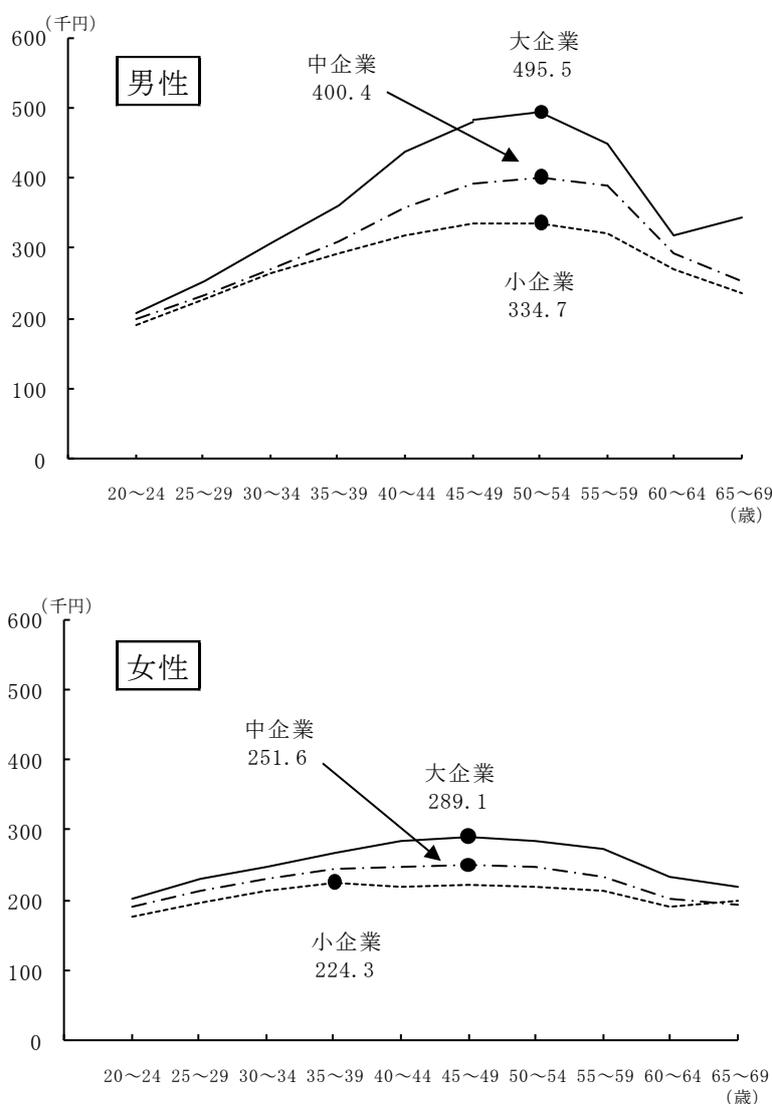
性、 年齢階級	大学・大学院卒			高専・短大卒			高校卒			
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級 間賃金格 差 (20～24 歳=100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級 間賃金格 差 (20～24 歳=100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級 間賃金格 差 (20～24 歳=100)	
男性	年齢計	396.7	-0.7	183	295.9	-3.5	152	287.2	-3.3	151
	20～24歳	217.1	-2.6	100	195.2	-1.4	100	190.0	-2.3	100
	25～29	255.7	-1.6	118	226.1	-3.0	116	221.6	-1.9	117
	30～34	312.9	-1.8	144	265.7	-3.1	136	254.3	-2.6	134
	35～39	375.6	-3.3	173	308.1	-5.2	158	284.7	-3.0	150
	40～44	461.4	-1.0	213	351.8	-5.8	180	311.2	-4.5	164
	45～49	503.1	-0.8	232	382.5	-4.6	196	337.4	-3.2	178
	50～54	516.5	-2.9	238	392.3	-6.5	201	349.8	-3.3	184
	55～59	515.2	-1.8	237	398.1	-7.4	204	342.7	-3.8	180
	60～64	432.4	4.2	199	298.9	-3.4	153	248.9	-3.4	131
65～69	446.6	4.0	206	269.5	17.8	138	215.2	-4.2	113	
平均年齢(歳)	40.8			37.4			42.9			
勤続年数(年)	12.3			10.5			13.4			
女性	年齢計	279.5	2.2	135	241.2	-1.0	125	200.0	-0.3	116
	20～24歳	207.5	-1.7	100	192.4	0.3	100	172.2	-0.9	100
	25～29	234.3	0.5	113	214.8	-1.8	112	185.2	-1.4	108
	30～34	269.9	-0.6	130	233.3	-1.3	121	195.7	-1.4	114
	35～39	326.5	2.8	157	253.9	-1.9	132	205.0	-1.3	119
	40～44	367.8	-1.3	177	264.0	-4.1	137	209.1	-0.9	121
	45～49	387.9	5.8	187	270.8	-2.1	141	210.3	0.2	122
	50～54	389.9	7.6	188	277.7	-3.3	144	210.7	-0.5	122
	55～59	376.6	-5.8	181	289.0	-1.7	150	210.5	0.7	122
	60～64	358.3	-8.6	173	258.7	-0.0	134	192.1	2.2	112
65～69	416.3	0.4	201	242.5	-6.4	126	200.0	5.8	116	
平均年齢(歳)	33.6			37.0			42.6			
勤続年数(年)	6.3			8.1			9.6			

#### (4) 企業規模別にみた賃金

企業規模別に賃金をみると、男性では、大企業が377.9千円（前年比1.0%減）、中企業が316.2千円（同2.6%減）、小企業が286.7千円（同2.8%減）、女性では、大企業が251.6千円（同0.2%増）、中企業が229.5千円（同1.8%増）、小企業が207.8千円（同0.0%増）となっており、いずれの企業規模も、男性は前年を下回り、女性は前年を上回っている。また、大企業の賃金を100とすると、中企業の賃金は、男性で84（前年85）、女性で91（同90）、小企業の賃金は、男性で76（同77）、女性で83（同83）となっている。

賃金がピークとなる年齢階級を企業規模別にみると、男性では、いずれの企業規模も50～54歳で、大企業495.5千円（20～24歳の賃金を100とすると239）、中企業400.4千円（同201）、小企業334.7千円（同175）となっている。女性では、大企業及び中企業が45～49歳で、大企業289.1千円（同144）、中企業251.6千円（同131）であり、小企業が35～39歳で224.3千円（同127）となっており、男性に比べ賃金カーブが緩やかとなっている。（第4図、第4表）

第4図 企業規模、性、年齢階級別賃金



第4表 企業規模、性、年齢階級別賃金、対前年増減率、企業規模間賃金格差及び年齢階級間賃金格差

性、 年齢階級	大企業				中企業				小企業				
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金格差		賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金格差		賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金格差		
			企業規模 間格差 (大企業=100)	年齢階級 間格差 (20~24 歳=100)			企業規模 間格差 (大企業=100)	年齢階級 間格差 (20~24 歳=100)			企業規模 間格差 (大企業=100)	年齢階級 間格差 (20~24 歳=100)	
男性	年齢計	377.9	-1.0	100	182	316.2	-2.6	84 (85)	159	286.7	-2.8	76 (77)	150
	20~24歳	207.5	-1.8	100	100	199.3	-2.5	96 (97)	100	190.9	-2.6	92 (93)	100
	25~29	253.7	0.1	100	122	232.2	-3.7	92 (95)	117	226.6	-2.6	89 (92)	119
	30~34	307.3	-1.2	100	148	271.0	-3.0	88 (90)	136	263.5	-2.8	86 (87)	138
	35~39	362.7	-2.9	100	175	310.4	-3.6	86 (86)	156	292.7	-3.6	81 (81)	153
	40~44	439.0	-1.0	100	212	357.0	-3.4	81 (83)	179	317.2	-2.9	72 (74)	166
	45~49	481.9	-0.5	100	232	391.9	-2.2	81 (83)	197	333.3	-3.7	69 (71)	175
	50~54	495.5	-1.2	100	239	400.4	-4.5	81 (84)	201	334.7	-1.4	68 (68)	175
	55~59	450.8	-3.1	100	217	389.0	-1.6	86 (85)	195	321.4	-3.7	71 (72)	168
	60~64	318.8	-0.0	100	154	293.0	2.9	92 (89)	147	270.6	-2.6	85 (87)	142
	65~69	345.6	21.5	100	167	253.4	-3.0	73 (92)	127	236.6	-3.3	68 (86)	124
	平均年齢(歳)	41.3				41.5				43.3			
	勤続年数(年)	15.6				12.2				10.7			
女性	年齢計	251.6	0.2	100	125	229.5	1.8	91 (90)	120	207.8	0.0	83 (83)	118
	20~24歳	201.3	0.0	100	100	191.5	-0.9	95 (96)	100	176.6	-0.6	88 (88)	100
	25~29	229.3	1.0	100	114	214.9	-0.5	94 (95)	112	197.1	-2.2	86 (89)	112
	30~34	247.5	0.1	100	123	232.6	0.2	94 (94)	121	211.8	-0.8	86 (86)	120
	35~39	267.4	-0.8	100	133	245.6	1.0	92 (90)	128	224.3	1.7	84 (82)	127
	40~44	283.0	-2.3	100	141	249.9	-0.4	88 (87)	130	219.9	-1.1	78 (77)	125
	45~49	289.1	1.7	100	144	251.6	5.4	87 (84)	131	220.7	-0.3	76 (78)	125
	50~54	283.5	-1.9	100	141	250.0	5.9	88 (82)	131	217.3	0.4	77 (75)	123
	55~59	272.1	1.5	100	135	233.9	2.7	86 (85)	122	213.2	1.1	78 (79)	121
	60~64	232.1	2.5	100	115	203.7	4.1	88 (86)	106	191.5	-0.2	83 (85)	108
	65~69	219.5	2.7	100	109	195.4	0.0	89 (91)	102	200.1	6.8	91 (88)	113
	平均年齢(歳)	37.7				39.2				41.0			
	勤続年数(年)	9.5				8.1				8.3			

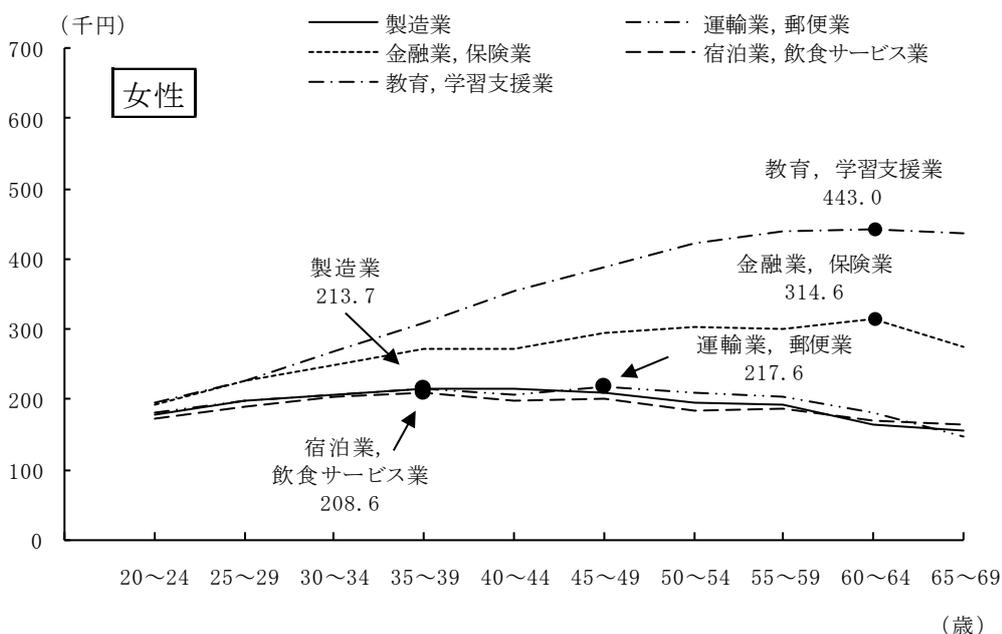
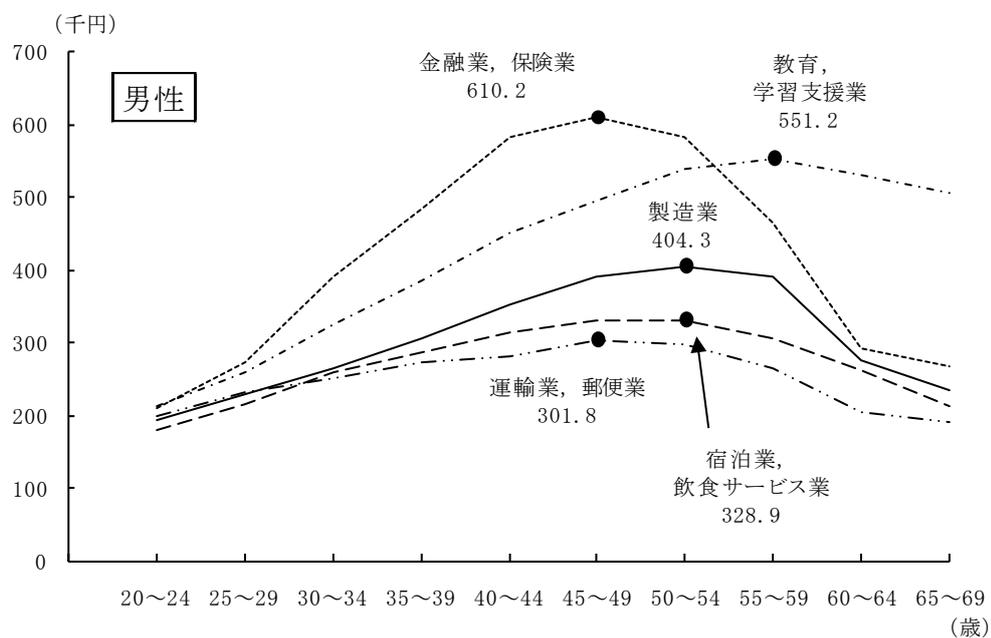
注：( )内は、平成20年の数値である。

### (5) 産業別にみた賃金

主な産業別に賃金をみると、男性では、金融業、保険業(468.1千円)が最も高く、次いで教育、学習支援業(448.9千円)となり、運輸業、郵便業(261.7千円)が最も低くなっている。女性では、教育、学習支援業(306.5千円)が最も高く、宿泊業、飲食サービス業(186.9千円)が最も低くなっている。

産業別に賃金カーブをみると、男性では、金融業、保険業は45～49歳で賃金がピークとなり、その後は大きく下降している。また、運輸業、郵便業、宿泊業、飲食サービス業は他の産業に比べ賃金カーブが緩やかとなっている。女性では、金融業、保険業、教育、学習支援業は、年齢階級が高くなるとともにおおむね賃金も上昇しているが、製造業、運輸業、郵便業、宿泊業、飲食サービス業は他の産業に比べ賃金カーブが緩やかとなっている。(第5図、第5表)

第5図 産業、性、年齢階級別賃金



第5表 主な産業、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

性、年齢階級		建設業	製造業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	医療、福祉	サービス業（他に分類されないもの）
賃金（千円）	年齢計	331.9	315.1	384.7	261.7	334.2	468.1	393.2	268.9	285.1	448.9	351.6	271.7
	20～24歳	213.0	194.4	217.4	199.4	197.5	209.8	227.9	180.6	193.2	211.9	198.3	195.3
	25～29	242.6	228.7	263.7	232.9	234.5	272.0	267.0	217.0	237.3	259.3	236.5	223.2
	30～34	278.9	266.4	318.7	249.8	282.4	389.9	318.6	258.8	277.9	324.6	281.6	256.3
	35～39	323.4	306.1	377.0	271.1	327.1	482.8	376.3	286.0	312.2	384.5	330.2	284.9
	40～44	363.7	353.2	465.7	280.1	380.0	583.1	449.2	311.5	354.9	450.5	424.5	312.4
	45～49	389.5	391.2	532.9	301.8	408.0	610.2	498.0	328.0	367.5	494.8	475.5	324.0
	50～54	395.2	404.3	585.4	297.4	427.9	581.6	521.3	328.9	370.8	537.3	513.8	321.0
	55～59	398.8	391.9	534.4	264.0	424.1	465.8	517.5	305.7	334.6	551.2	494.0	300.5
	60～64	311.4	275.8	313.1	206.0	307.1	292.7	379.9	262.3	248.3	530.2 *	467.4	232.6
65～69	263.4	236.6 *	271.3	191.6	259.8	268.5	351.2	213.5	197.9	505.0 *	407.7	203.6	
男性	対前年増減率(%)	0.3	-2.1	1.3	-8.1	-3.6	1.0	0.2	-2.9	-0.9	2.7	-2.6	-0.4
	平均年齢(歳)	43.9	41.3	38.1	45.6	41.1	42.0	40.7	39.5	38.4	46.4	39.4	44.6
	勤続年数(年)	13.2	14.7	12.1	11.5	13.3	15.4	12.3	8.3	8.7	14.1	8.2	8.9
年齢階級間賃金格差（20～24歳）	年齢計	156	162	177	131	169	223	173	149	148	212	177	139
	20～24歳	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	25～29	114	118	121	117	119	130	117	120	123	122	119	114
	30～34	131	137	147	125	143	186	140	143	144	153	142	131
	35～39	152	157	173	136	166	230	165	158	162	181	167	146
	40～44	171	182	214	140	192	278	197	172	184	213	214	160
	45～49	183	201	245	151	207	291	219	182	190	234	240	166
	50～54	186	208	269	149	217	277	229	182	192	254	259	164
	55～59	187	202	246	132	215	222	227	169	173	260	249	154
	60～64	146	142	144	103	155	140	167	145	129	250	236	119
65～69	124	122	125	96	132	128	154	118	102	238	206	104	
賃金（千円）	年齢計	217.9	196.6	277.1	202.9	218.0	258.4	271.4	186.9	207.7	306.5	243.8	206.1
	20～24歳	187.7	175.5	209.9	182.3	184.0	192.3	204.7	172.5	179.5	194.8	199.4	188.3
	25～29	203.8	197.0	232.9	198.5	201.7	226.0	246.0	189.4	204.3	226.9	226.5	203.6
	30～34	216.4	205.3	260.1	205.7	224.9	248.5	258.8	201.9	223.9	269.2	241.8	212.2
	35～39	229.3	213.7	286.7	215.4	246.3	271.1	285.7	208.6	229.7	309.5	259.5	221.2
	40～44	227.0	212.4	365.6	207.5	238.3	272.3	320.9	198.0	234.9	355.9	261.8	214.3
	45～49	224.9	206.9	368.9	217.6	237.6	294.7	308.9	200.2	218.7	390.0	264.8	212.3
	50～54	237.8	193.8	384.6	210.3	225.8	303.9	344.4	183.2	220.7	423.5	266.2	216.9
	55～59	233.1	191.4	369.2	204.9	209.5	300.9	300.8	187.2	212.5	440.0	259.3	209.5
	60～64	194.8	163.2	200.5	181.8	194.7	314.6	257.3	170.0	188.7	443.0	224.5	170.4
65～69	207.2	153.6 *	207.2	147.3 *	226.9	275.1 *	249.4	164.1	157.6	436.2	239.5	170.2	
女性	対前年増減率(%)	0.6	-0.6	1.4	-1.4	1.1	-0.3	2.9	-0.2	0.9	3.1	-0.0	3.8
	平均年齢(歳)	42.2	41.8	34.6	40.1	38.2	38.7	36.3	40.3	37.5	37.9	39.4	39.6
	勤続年数(年)	10.3	10.9	8.5	7.9	8.5	9.8	8.5	6.5	7.1	9.6	7.5	5.7
年齢階級間賃金格差（20～24歳）	年齢計	116	112	132	111	118	134	133	108	116	157	122	109
	20～24歳	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	25～29	109	112	111	109	110	118	120	110	114	116	114	108
	30～34	115	117	124	113	122	129	126	117	125	138	121	113
	35～39	122	122	137	118	134	141	140	121	128	159	130	117
	40～44	121	121	174	114	130	142	157	115	131	183	131	114
	45～49	120	118	176	119	129	153	151	116	122	200	133	113
	50～54	127	110	183	115	123	158	168	106	123	217	134	115
	55～59	124	109	176	112	114	156	147	109	118	226	130	111
	60～64	104	93	96	100	106	164	126	99	105	227	113	90
65～69	110	88	99	81	123	143	122	95	88	224	120	90	

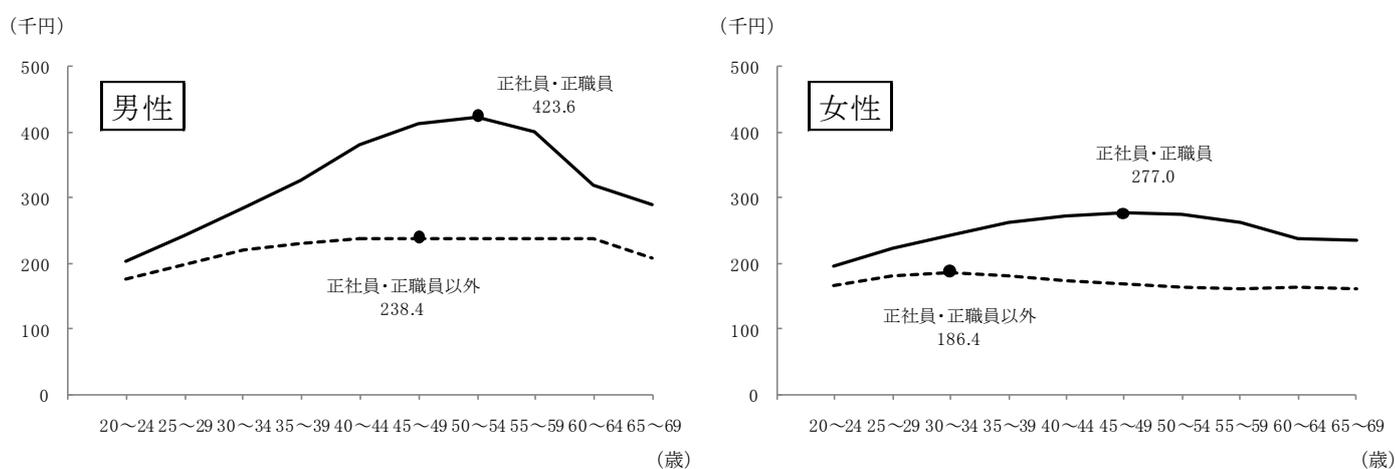
## (6) 雇用形態別の賃金

雇用形態別の賃金をみると、正社員・正職員310.4千円（平均40.6歳、勤続12.2年）、正社員・正職員以外194.6千円（平均44.2歳、勤続6.4年）となっている。男女別にみると、男性では、正社員・正職員337.4千円（前年比2.3%減）、正社員・正職員以外222.0千円（同0.9%減）、女性では、正社員・正職員244.8千円（同0.4%増）、正社員・正職員以外172.1千円（同0.9%増）となっている。

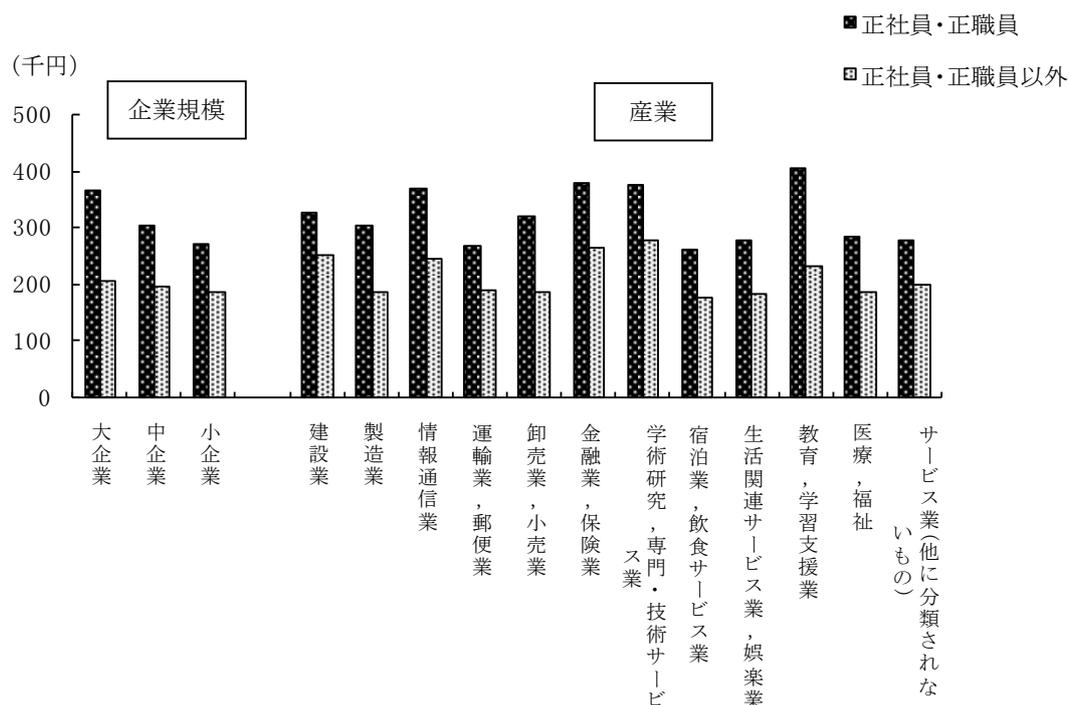
年齢階級別にみると、正社員・正職員以外は、男女いずれも年齢階級が高くなっても賃金の上昇があまり見られない。

正社員・正職員の賃金を100とすると、正社員・正職員以外の賃金は、男女計で63（前年62）、男性で66（同65）、女性で70（同70）となっている。なお、企業規模別では、大企業で56（同55）、主な産業別では、教育、学習支援業で57（同58）、卸売業、小売業で58（同54）と、賃金格差が大きくなっている。（第6図、第7図、第6表、第7表、第8表）

### 第6図 雇用形態、性、年齢階級別賃金



### 第7図 雇用形態、企業規模・産業別賃金



第6表 雇用形態、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び雇用形態間賃金格差

年齢階級	男女計					男性					女性				
	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)
	賃金 (千円)	対前年増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年増減率 (%)		賃金 (千円)	対前年増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年増減率 (%)		賃金 (千円)	対前年増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年増減率 (%)	
年齢計	310.4	-1.9	194.6	-0.1	63 (62)	337.4	-2.3	222.0	-0.9	66 (65)	244.8	0.4	172.1	0.9	70 (70)
20～24歳	199.2	-1.5	170.2	-1.6	85 (86)	203.0	-2.3	175.1	-2.9	86 (87)	194.7	-0.6	166.3	-0.7	85 (85)
25～29	234.2	-1.8	188.0	-1.5	80 (80)	242.0	-2.1	198.2	-1.8	82 (82)	221.7	-0.6	180.3	-1.1	81 (82)
30～34	271.9	-2.2	200.0	-0.3	74 (72)	284.4	-2.4	220.0	-0.5	77 (76)	241.4	-0.6	186.4	0.6	77 (76)
35～39	310.6	-3.4	199.5	-0.6	64 (62)	326.9	-3.8	229.7	-0.9	70 (68)	262.3	-0.2	181.5	0.4	69 (69)
40～44	353.1	-3.1	194.4	-0.3	55 (53)	381.0	-2.8	238.1	-2.6	62 (62)	271.6	-1.9	174.0	2.9	64 (61)
45～49	379.6	-1.3	190.4	0.3	50 (49)	414.6	-1.9	238.4	-1.7	58 (57)	277.0	2.4	169.5	1.3	61 (62)
50～54	385.9	-2.0	190.2	-0.6	49 (49)	423.6	-2.2	237.8	-3.4	56 (57)	274.0	0.8	165.0	0.5	60 (60)
55～59	367.7	-1.7	196.2	1.8	53 (52)	401.0	-2.3	237.3	-0.3	59 (58)	261.7	1.2	161.8	2.0	62 (61)
60～64	299.7	-1.1	215.2	-0.1	72 (71)	319.5	-1.4	237.3	-0.6	74 (74)	236.1	-0.3	163.2	3.9	69 (66)
65～69	273.6	-0.5	192.8	0.9	70 (69)	288.7	-2.1	206.8	1.0	72 (69)	235.1	5.0	161.3	1.6	69 (71)
平均年齢(歳)	40.6		44.2			41.5		46.6			38.5		42.3		
勤続年数(年)	12.2		6.4			13.4		7.1			9.4		5.8		

注：( )内は、平成20年の数値である。

第7表 雇用形態、性、企業規模別賃金、対前年増減率及び雇用形態間賃金格差

企業規模	男女計					男性					女性				
	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)
	賃金 (千円)	対前年増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年増減率 (%)		賃金 (千円)	対前年増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年増減率 (%)		賃金 (千円)	対前年増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年増減率 (%)	
大企業	364.5	-1.2	204.9	0.3	56 (55)	391.7	-1.4	232.2	1.6	59 (58)	277.2	0.2	182.5	-0.3	66 (66)
中企業	302.3	-2.0	193.6	-0.7	64 (63)	327.5	-2.7	219.9	-3.0	67 (67)	247.9	1.3	173.4	2.7	70 (69)
小企業	270.0	-2.6	184.7	0.2	68 (67)	293.3	-2.9	214.3	-0.2	73 (71)	218.8	-0.5	157.8	-1.3	72 (73)

注：( )内は、平成20年の数値である。

第8表 雇用形態、性、主な産業別賃金、対前年増減率及び雇用形態間賃金格差

産業	男女計					男性					女性				
	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)
	賃金 (千円)	対前年増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年増減率 (%)		賃金 (千円)	対前年増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年増減率 (%)		賃金 (千円)	対前年増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年増減率 (%)	
産業計	310.4	-1.9	194.6	-0.1	63 (62)	337.4	-2.3	222.0	-0.9	66 (65)	244.8	0.4	172.1	0.9	70 (70)
建設業	325.2	0.5	249.9	-2.7	77 (79)	337.1	0.0	269.6	-0.6	80 (80)	225.1	1.2	183.4	8.3	81 (76)
製造業	300.8	-2.3	184.6	-0.4	61 (60)	322.5	-2.5	216.8	-1.0	67 (66)	210.9	-1.4	157.1	2.7	74 (72)
情報通信業	367.5	1.1	242.4	-13.4	66 (77)	389.0	1.8	288.5	-14.4	74 (88)	291.0	1.7	203.0	-10.6	70 (79)
運輸業、郵便業	266.1	-7.5	188.1	-2.1	71 (67)	270.4	-7.9	197.5	-4.8	73 (71)	222.4	-2.7	159.9	4.6	72 (67)
卸売業、小売業	317.1	-3.2	183.6	3.1	58 (54)	344.2	-3.5	216.4	2.1	63 (59)	240.9	0.6	165.8	3.6	69 (67)
金融業、保険業	376.6	-0.1	263.5	13.9	70 (61)	472.7	0.8	376.0	20.9	80 (66)	264.3	-0.4	202.4	4.1	77 (73)
学術研究、専門・技術サービス業	372.7	0.4	275.2	8.7	74 (68)	397.4	-0.0	331.2	4.9	83 (79)	284.3	1.2	205.7	1.7	72 (72)
宿泊業、飲食サービス業	259.0	-2.4	175.5	0.1	68 (66)	284.0	-2.5	197.5	-1.0	70 (68)	204.4	-0.5	159.9	0.1	78 (78)
生活関連サービス業、娯楽業	277.0	0.1	182.8	-0.4	66 (66)	307.9	-0.5	195.5	0.5	63 (63)	228.5	1.5	174.7	-1.7	76 (79)
教育、学習支援業	405.1	2.8	231.7	1.0	57 (58)	461.2	2.9	262.3	-0.2	57 (59)	318.4	2.8	205.2	-0.2	64 (66)
医療、福祉	283.7	-0.9	183.1	0.3	65 (64)	364.2	-3.1	223.8	6.7	61 (56)	254.0	0.0	172.7	-1.8	68 (69)
サービス業 (他に分類されないもの)	275.6	-1.7	198.6	2.0	72 (69)	293.0	-2.0	204.0	-0.0	70 (68)	219.7	1.8	193.5	4.0	88 (86)

注：1) 産業計には、上掲のほか、鉱業、採石業、砂利採取業、電気・ガス・熱供給・水道業、不動産業、物品賃貸業、複合サービス事業を含む。

2) ( )内は、平成20年の数値である。

(7) 賃金の分布

賃金の分布を男女別にみると、男性では、年齢階級が高くなるとともに賃金階級の高い層におおむねより多くの労働者が分布している。一方、女性では、35～39歳までは年齢階級が高くなるとともに賃金階級の高い層におおむねより多くの労働者が分布しているが、それ以降は低い賃金階級に多く分布している。

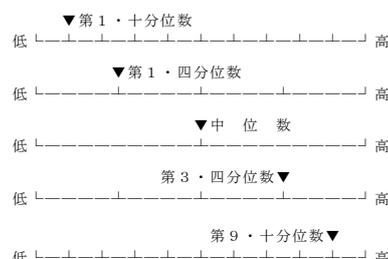
賃金の散らばりをみると、男女いずれも年齢階級が高くなるとともにおおむね大きくなっている。また、学歴別に分位数で広がりを見ると、男女とも大学・大学院卒が他の学歴に比べ、大きくなっている。(第9表、第8図)

第9表 賃金階級、性、年齢階級別労働者数割合(2-1)

賃金階級	男性										
	年齢計	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
～ 99.9 (千円)	0.2	0.4	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.3	0.8	2.0
100.0 ～ 119.9	0.7	1.1	0.4	0.3	0.3	0.3	0.4	0.5	0.9	2.2	5.2
120.0 ～ 139.9	1.6	3.3	1.5	1.0	0.8	0.8	0.7	1.1	1.8	4.5	7.7
140.0 ～ 159.9	3.1	7.8	3.4	2.0	1.5	1.4	1.4	1.7	3.0	7.6	12.5
160.0 ～ 179.9	4.8	17.6	6.4	3.3	2.2	1.7	1.8	2.2	3.3	9.3	9.8
180.0 ～ 199.9	6.3	22.4	12.0	5.6	3.4	2.7	2.4	2.8	3.7	10.4	10.5
200.0 ～ 219.9	7.9	22.4	17.4	9.2	5.2	3.7	3.2	3.2	3.7	10.1	11.2
220.0 ～ 239.9	7.8	12.4	18.0	11.6	6.6	4.5	3.4	3.6	4.3	7.9	6.4
240.0 ～ 259.9	7.7	6.5	14.0	13.1	8.6	5.0	4.2	4.4	4.8	7.0	6.3
260.0 ～ 279.9	7.0	3.0	9.2	12.3	9.5	6.2	4.6	4.2	4.7	5.6	4.1
280.0 ～ 299.9	6.2	1.2	6.2	9.6	9.8	6.8	4.7	4.5	4.8	4.5	3.4
300.0 ～ 319.9	5.9	0.9	3.8	8.0	9.3	7.2	5.7	4.9	5.1	3.9	3.4
320.0 ～ 339.9	5.0	0.4	2.3	6.0	7.8	7.0	5.7	4.8	4.8	2.8	2.2
340.0 ～ 359.9	4.7	0.2	1.9	4.5	7.0	6.6	5.9	5.3	5.1	2.8	1.7
360.0 ～ 399.9	7.7	0.3	1.7	6.0	10.2	11.8	11.5	10.1	9.2	3.9	2.1
400.0 ～ 449.9	7.2	0.2	0.6	3.4	8.0	11.0	12.2	12.3	10.5	4.3	2.0
450.0 ～ 499.9	4.9	0.0	0.5	1.4	4.1	7.6	9.0	8.9	8.6	2.7	1.5
500.0 ～ 599.9	5.8	0.0	0.4	1.5	3.3	8.5	11.6	12.0	10.5	3.8	2.5
600.0 ～ 699.9	2.8	-	0.1	0.4	1.2	3.5	5.6	6.6	5.3	2.3	1.8
700.0 ～ 799.9	1.3	0.0	0.0	0.3	0.6	1.5	2.8	3.1	2.6	1.5	1.5
800.0 ～ 899.9	0.7	0.0	0.0	0.1	0.4	1.0	1.3	1.5	1.3	0.9	0.7
900.0 ～ 999.9	0.3	-	0.0	0.0	0.1	0.4	0.5	0.8	0.6	0.3	0.4
1000.0 ～ 1199.9	0.3	-	0.0	0.0	0.1	0.3	0.6	0.6	0.4	0.4	0.5
1200.0 ～	0.3	-	0.0	0.0	0.1	0.3	0.5	0.5	0.4	0.6	0.6
平均値 (千円)	326.8	199.7	237.8	280.1	322.0	374.4	406.2	412.4	385.5	288.8	254.3
第1・十分位数 (千円)	178.7	154.9	175.2	192.2	207.0	216.6	219.6	209.1	183.4	148.1	128.6
第1・四分位数 (千円)	221.2	175.1	201.4	226.2	251.6	275.4	291.0	284.2	256.4	181.4	156.8
中位数 (千円)	289.2	197.7	229.7	266.0	304.3	347.6	378.8	384.6	358.2	233.2	203.3
第3・四分位数 (千円)	391.2	220.2	263.7	317.0	370.5	440.1	485.8	501.4	475.6	329.4	276.8
第9・十分位数 (千円)	517.8	247.5	306.7	378.0	448.0	555.6	617.1	640.0	608.1	496.7	433.4
十分位分散係数	0.59 (0.57)	0.23 (0.24)	0.29 (0.29)	0.35 (0.34)	0.40 (0.40)	0.49 (0.47)	0.52 (0.50)	0.56 (0.55)	0.59 (0.57)	0.75 (0.71)	0.75 (0.67)
四分位分散係数	0.29 (0.29)	0.11 (0.12)	0.14 (0.14)	0.17 (0.17)	0.20 (0.20)	0.24 (0.23)	0.26 (0.25)	0.28 (0.27)	0.31 (0.29)	0.32 (0.31)	0.30 (0.29)

注： 1) 分位数とは、分布の形を示す値である。具体的には、全労働者を賃金の低い者から高い者へと一列に並べて、全労働者の所定の何番目かに該当する者の賃金である。図示すれば下図のとおりである。

- 第1・十分位数 …… 低い方から数えて全体の10分の1番目に該当する者の賃金
- 第1・四分位数 …… 低い方から数えて全体の4分の1番目に該当する者の賃金
- 中位数 …… 低い方(あるいは高い方)から数えて全体の2分の1番目に該当する者の賃金
- 第3・四分位数 …… 高い方から数えて全体の4分の1番目に該当する者の賃金
- 第9・十分位数 …… 高い方から数えて全体の10分の1番目に該当する者の賃金



2) 分散係数とは、分布の広がりを示す指標の一つであり、次の算式により計算された数値をいう。

一般に、その値が小さいほど分布の広がりの程度が小さいことを示す。

$$\text{十分位分散係数} = \frac{\text{第9・十分位数} - \text{第1・十分位数}}{2 \times \text{中位数}}$$

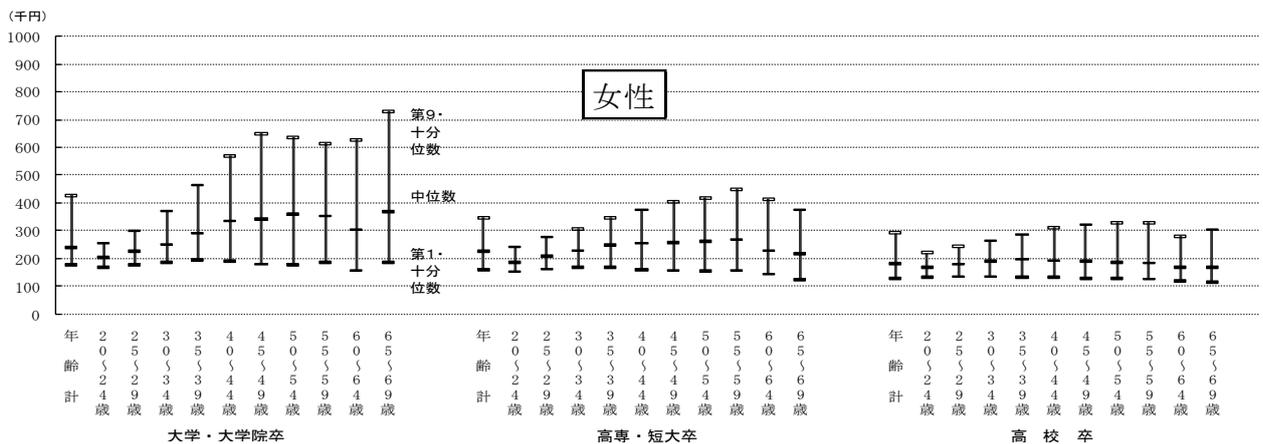
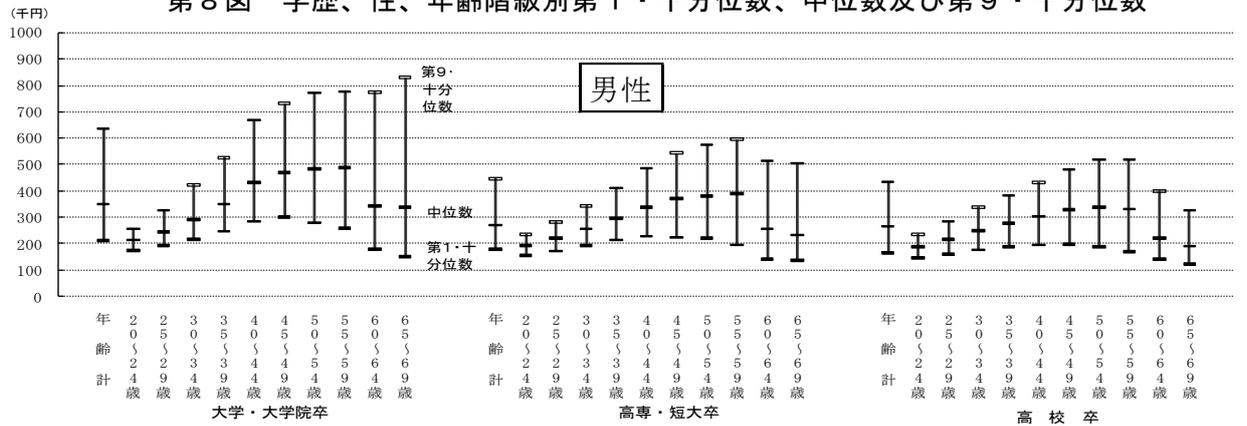
$$\text{四分位分散係数} = \frac{\text{第3・四分位数} - \text{第1・四分位数}}{2 \times \text{中位数}}$$

3) ( )内は、平成20年の数値である。

第9表 賃金階級、性、年齢階級別労働者数割合（2-2）

賃金階級	女性										
	年齢計	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳
計	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
～ 99.9 (千円)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
100.0 ～ 119.9	0.9	0.4	0.3	0.5	0.7	1.0	1.0	1.2	1.7	2.2	3.5
120.0 ～ 139.9	2.9	1.8	1.4	1.8	2.3	2.6	3.0	4.0	4.6	7.5	10.0
140.0 ～ 159.9	6.8	6.0	4.1	4.0	5.1	6.6	7.4	8.5	10.3	15.1	16.6
160.0 ～ 179.9	10.2	12.6	7.6	7.1	7.4	9.1	10.6	11.6	12.4	17.1	16.9
180.0 ～ 199.9	12.7	21.9	13.3	10.1	8.7	10.2	11.2	11.1	11.6	14.5	10.0
200.0 ～ 219.9	12.2	20.9	16.5	11.8	9.6	9.0	9.1	9.0	9.4	9.5	11.9
220.0 ～ 239.9	11.3	16.6	16.1	13.3	9.8	9.0	8.4	7.9	8.1	7.9	7.7
240.0 ～ 259.9	9.5	9.7	13.8	13.4	10.8	8.0	6.8	6.4	6.2	5.0	4.6
260.0 ～ 279.9	7.8	5.6	10.0	11.5	9.4	7.7	6.3	6.1	5.5	4.3	3.9
280.0 ～ 299.9	5.9	2.4	7.0	8.0	8.5	6.3	5.8	5.1	5.0	3.0	1.5
300.0 ～ 319.9	4.4	1.1	4.1	6.1	6.9	5.5	4.8	4.6	4.0	1.6	1.9
320.0 ～ 359.9	3.4	0.4	2.7	3.8	5.4	5.0	4.0	3.5	3.6	1.9	2.3
360.0 ～ 399.9	4.5	0.5	1.9	4.4	7.1	7.9	6.7	6.4	5.0	2.9	2.0
400.0 ～ 449.9	2.6	0.1	0.5	2.0	3.3	4.5	5.0	4.4	3.8	2.2	1.3
450.0 ～ 499.9	1.9	0.1	0.3	0.9	2.1	2.9	4.1	4.1	3.3	1.6	0.9
500.0 ～ 599.9	1.0	-	0.2	0.5	1.0	1.5	2.0	1.9	2.0	1.0	1.0
600.0 ～ 699.9	1.1	0.0	0.2	0.3	0.9	1.8	1.8	2.5	2.0	1.3	1.3
700.0 ～ 799.9	0.4	-	0.0	0.3	0.2	0.6	0.8	0.7	0.9	0.9	1.3
800.0 ～ 899.9	0.2	-	0.1	0.1	0.2	0.4	0.5	0.4	0.4	0.3	0.4
900.0 ～ 999.9	0.1	-	-	0.1	0.1	0.0	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2
1000.0 ～	0.1	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.0	0.0	0.8
平均値 (千円)	228.0	189.8	214.1	230.3	245.4	248.8	250.0	245.2	233.4	203.3	201.8
第1・十分位数 (千円)	138.6	143.5	151.9	151.4	145.4	139.3	136.5	132.5	128.9	120.5	113.8
第1・四分位数 (千円)	167.0	164.1	177.7	182.6	181.5	170.8	165.2	159.5	153.9	140.4	134.9
中位数 (千円)	207.4	186.3	208.1	222.1	231.7	225.9	217.7	210.8	199.9	171.4	166.1
第3・四分位数 (千円)	262.6	213.2	243.4	264.1	287.1	299.8	301.9	297.4	281.1	224.9	215.9
第9・十分位数 (千円)	336.5	240.3	280.0	311.9	347.5	374.7	398.0	400.6	384.9	327.4	307.7
十分位分散係数	0.48 (0.47)	0.26 (0.25)	0.31 (0.30)	0.36 (0.37)	0.44 (0.44)	0.52 (0.54)	0.60 (0.58)	0.64 (0.64)	0.64 (0.63)	0.60 (0.61)	0.58 (0.64)
四分位分散係数	0.23 (0.23)	0.13 (0.13)	0.16 (0.15)	0.18 (0.19)	0.23 (0.23)	0.29 (0.29)	0.31 (0.31)	0.33 (0.33)	0.32 (0.31)	0.25 (0.24)	0.24 (0.26)

第8図 学歴、性、年齢階級別第1・十分位数、中位数及び第9・十分位数



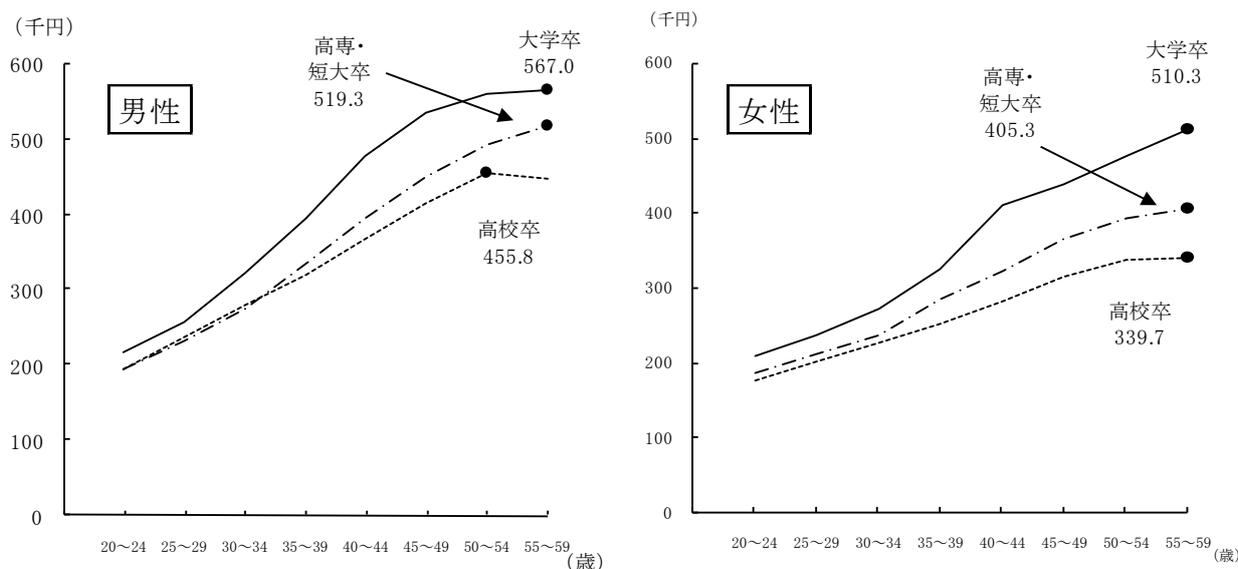
注：第9表 注：1）参照。

(8) 標準労働者の賃金

標準労働者について、賃金がピークとなる年齢階級を学歴別にみると、男性では、大学卒及び高専・短大卒で55～59歳、高校卒で50～54歳、女性では、すべての学歴で55～59歳となっている。

学歴別に20～24歳の賃金を100とすると、男性では、大学及び高専・短大卒で賃金がピークとなる55～59歳で、大学卒が262、高専・短大卒が268、高校卒で賃金がピークとなる50～54歳で234、女性では、いずれの学歴も賃金がピークとなる55～59歳で、大学卒が246、高専・短大卒で219、高校卒で194となっている。（第9図、第10表）

第9図 標準労働者の学歴、性、年齢階級別賃金



第10表 標準労働者の学歴、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

性、年齢階級	大学卒			高専・短大卒			高校卒			
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	
男性	年齢計	395.7	-0.4	183	298.4	-2.7	154	325.9	-2.1	167
	20～24歳	216.6	-2.7	100	193.8	-1.0	100	194.9	-0.6	100
	25～29	257.8	-2.2	119	232.8	-2.7	120	236.9	-0.3	122
	30～34	323.0	-1.2	149	274.4	-2.5	142	279.2	-1.8	143
	35～39	395.6	-2.8	183	336.0	-0.1	173	319.4	-1.7	164
	40～44	478.4	-2.0	221	396.6	-3.6	205	367.7	-2.3	189
	45～49	535.7	-0.4	247	450.2	-4.2	232	414.6	-1.1	213
	50～54	562.6	-0.4	260	492.9	-2.7	254	455.8	0.3	234
55～59	567.0	-1.0	262	519.3	-4.6	268	448.1	-2.9	230	
女性	年齢計	256.7	0.4	124	236.8	0.3	128	226.0	-1.4	129
	20～24歳	207.4	-1.8	100	185.1	0.9	100	174.9	-0.7	100
	25～29	234.1	0.2	113	210.4	-2.6	114	201.3	-0.3	115
	30～34	270.5	-2.3	130	236.8	-4.5	128	224.9	-1.1	129
	35～39	324.4	-3.3	156	285.0	-0.2	154	250.7	-1.1	143
	40～44	409.7	-0.1	198	320.9	-2.4	173	281.1	1.0	161
	45～49	436.6	-2.9	211	365.8	1.2	198	314.0	-1.1	180
	50～54	475.5	0.7	229	392.2	-3.4	212	336.6	-4.8	192
55～59	510.3	2.5	246	405.3	-5.7	219	339.7	2.3	194	

(9) 製造業における労働者の種類別にみた賃金

製造業について、賃金がピークとなる年齢階級を労働者の種類別にみると、男性では、生産労働者が55～59歳で328.1千円、管理・事務・技術労働者が50～54歳で487.6千円、女性では、生産労働者が35～39歳で181.3千円、管理・事務・技術労働者が55～59歳で262.2千円となっている（第11表）。

第11表 製造業の労働者の種類、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

年齢階級	男性						女性					
	生産労働者			管理・事務・技術労働者			生産労働者			管理・事務・技術労働者		
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)
年齢計	266.2	-2.1	140	381.5	-1.9	183	169.8	-1.0	104	233.3	-0.6	122
20～24歳	190.0	-2.9	100	208.7	-2.0	100	163.3	-1.8	100	190.6	-1.8	100
25～29	217.9	-1.6	115	247.7	-0.9	119	175.3	-1.7	107	213.3	-0.6	112
30～34	246.3	-2.8	130	297.6	-0.8	143	177.2	-2.0	109	226.4	-2.4	119
35～39	271.9	-2.8	143	348.0	-2.4	167	181.3	-1.1	111	241.3	-3.3	127
40～44	297.7	-2.0	157	407.4	-3.0	195	177.5	-0.3	109	249.5	-3.6	131
45～49	311.3	-3.1	164	462.4	-1.7	222	171.8	-0.3	105	259.5	3.0	136
50～54	324.6	-1.8	171	487.6	-0.9	234	168.3	-0.9	103	252.0	0.3	132
55～59	328.1	-0.7	173	475.5	-2.3	228	169.5	0.0	104	262.2	5.6	138
60～64	237.9	-1.0	125	339.3	0.7	163	150.5	-1.1	92	211.4	1.1	111
平均年齢(歳)	40.3			42.8			44.0			38.8		
勤続年数(年)	13.4			16.5			10.6			11.3		

(10) 役職別にみた賃金

企業全体の常用労働者が100人以上の企業について、役職別の賃金をみると、男性では、部長級636.1千円（前年比2.0%減）、課長級515.7千円（同0.7%減）、係長級384.9千円（同2.4%減）、女性では、部長級567.7千円（同7.5%減）、課長級427.9千円（同3.7%減）、係長級344.7千円（同1.6%減）となっており、男女とも、すべての役職で前年を下回っている（第12表）。

第12表 役職、性別賃金、対前年増減率、役職・非役職間賃金格差及び平均年齢  
(企業規模100人以上)

役職	男性				女性			
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	役職・非役職間賃 金格差(非役職者 20～24歳=100)	平均 年齢 (歳)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	役職・非役職間賃 金格差(非役職者 20～24歳=100)	平均 年齢 (歳)
部長級	636.1	-2.0	309 (309)	51.7	567.7	-7.5	284 (306)	49.9
課長級	515.7	-0.7	251 (247)	47.2	427.9	-3.7	214 (221)	47.6
係長級	384.9	-2.4	187 (188)	43.2	344.7	-1.6	172 (175)	43.9
非役職者 (20～24歳)	205.7	-2.0	100 (100)		200.1	-0.3	100 (100)	

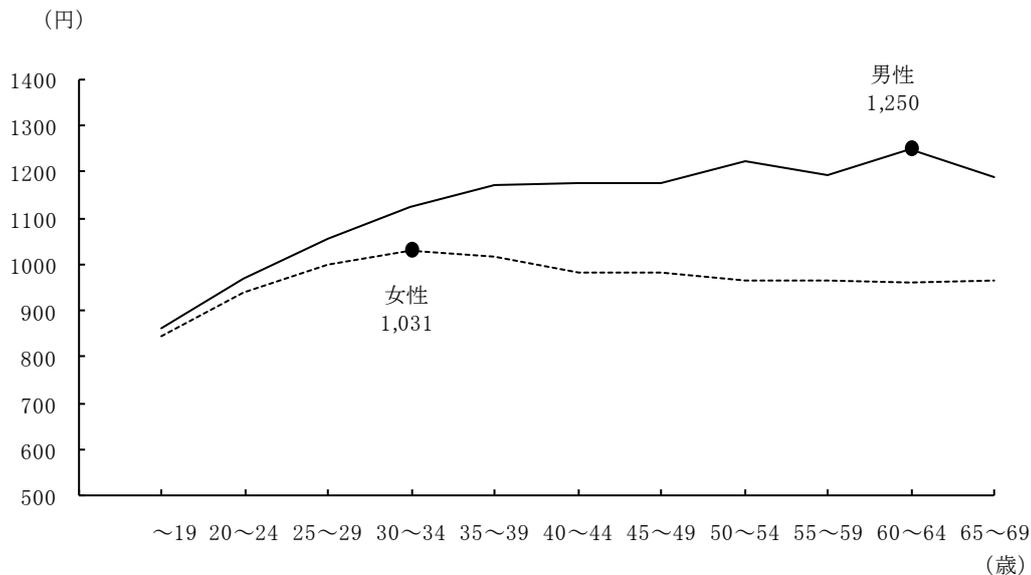
注：( )内は、平成20年の数値である。

## 2 短時間労働者の賃金

### (1) 年齢階級別にみた賃金

短時間労働者の1時間あたり賃金は、男性が1,086円（前年比1.4%増）、女性が973円（同0.2%減）となっている。男性では、25～29歳以上は1,000円を超えている。女性では、25～29歳及び30歳台で1,000円台となっており、40歳台以降は900円台となっている。（第10図、第13表）

第10図 短時間労働者の性、年齢階級別1時間あたり賃金



第13表 短時間労働者の年齢階級、性別1時間あたり賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

年齢階級	男性			女性		
	1時間 あたり 賃金(円)	対前年 増減率 (%)	年齢階 級間賃 金格差 (20～24歳 =100)	1時間 あたり 賃金(円)	対前年 増減率 (%)	年齢階 級間賃 金格差 (20～24歳 =100)
年齢計	1,086	1.4	112	973	-0.2	104
～19歳	861	0.3	89	844	0.4	90
20～24	971	0.0	100	939	-2.0	100
25～29	1,056	-1.9	109	1,002	-1.8	107
30～34	1,126	-3.6	116	1,031	1.6	110
35～39	1,171	0.8	121	1,017	1.5	108
40～44	1,178	-3.9	121	985	-0.2	105
45～49	1,175	0.4	121	983	-0.1	105
50～54	1,223	2.9	126	966	-0.5	103
55～59	1,192	5.0	123	967	-1.0	103
60～64	1,250	3.3	129	960	-1.2	102
65～69	1,189	1.7	122	964	-1.9	103
平均年齢(歳)	40.3			44.4		
平均実労働日数(日)	15.5			17.1		
平均1日あたり所定内実労働時間数(時間)	5.4			5.2		
勤続年数(年)	4.1			5.1		

## (2) 企業規模別にみた賃金

企業規模別に1時間当たり賃金をみると、男性では、大企業が1,048円（前年比3.3%増）、中企業が1,128円（同0.9%増）、小企業が1,093円（同1.0%減）、女性では、大企業が970円（同0.6%増）、中企業が997円（同0.1%減）、小企業が954円（同1.5%減）となっている（第14表）。

第14表 短時間労働者の企業規模、性別1時間当たり賃金、対前年増減率及び企業規模間賃金格差

企業規模	男性			女性		
	1時間 当たり 賃金(円)	対前年 増減率 (%)	企業規模 間賃金格 差(大企業 =100)	1時間 当たり 賃金(円)	対前年 増減率 (%)	企業規模 間賃金格 差(大企業 =100)
大 企 業	1,048	3.3	100	970	0.6	100
中 企 業	1,128	0.9	108	997	-0.1	103
小 企 業	1,093	-1.0	104	954	-1.5	98

## (3) 産業別にみた賃金

主な産業別に1時間当たり賃金をみると、男性では、製造業、運輸業、郵便業、サービス業（他に分類されないもの）が1,000円を超え、女性では医療、福祉が1,000円を超えている（第15表）。

第15表 短時間労働者の主な産業、性別1時間当たり賃金、対前年増減率及び産業間賃金格差

性、産業		1時間当たり賃金(円)	対前年増減率 (%)	産業間賃金格差 (産業計=100)
男 性	産業計	1,086	1.4	100
	製造業	1,183	5.2	109
	運輸業、郵便業	1,119	-3.2	103
	卸売業、小売業	973	-1.5	90
	宿泊業、飲食サービス業	929	0.1	86
	サービス業(他に分類されないもの)	1,103	2.7	102
女 性	産業計	973	-0.2	100
	製造業	891	1.7	92
	卸売業、小売業	909	-1.5	93
	宿泊業、飲食サービス業	894	-0.8	92
	医療、福祉	1,192	0.6	123
	サービス業(他に分類されないもの)	972	-1.6	100

注：産業計には、上掲のほか、男女とも、鉱業、採石業、砂利採取業、建設業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、教育、学習支援業、複合サービス事業を含み、男性では医療、福祉、女性では運輸業、郵便業を含む。

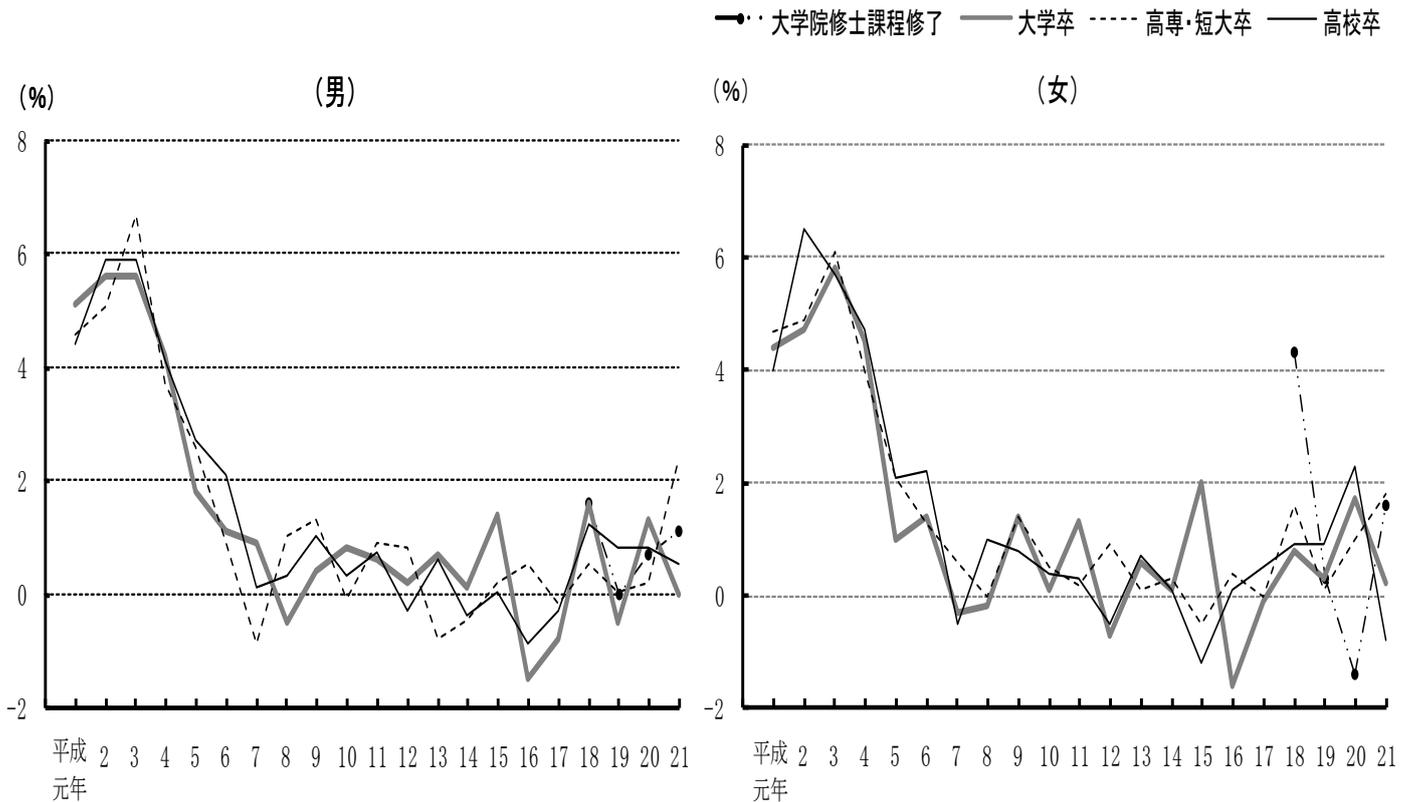
### 3 新規学卒者の初任給

#### (1) 学歴別にみた初任給

平成21年の初任給を高校卒以上の学歴別にみると、以下のとおりになっている。

男女計	大学院修士課程修了	228.4千円	(対前年増減率 1.1%)
	大学卒	198.8千円	( " 0.1%)
	高専・短大卒	173.2千円	( " 2.1%)
	高校卒	157.8千円	( " 0.1%)
男	大学院修士課程修了	228.6千円	(対前年増減率 1.1%)
	大学卒	201.4千円	( " 0.0%)
	高専・短大卒	175.8千円	( " 2.4%)
	高校卒	160.8千円	( " 0.5%)
女	大学院修士課程修了	227.1千円	(対前年増減率 1.6%)
	大学卒	194.9千円	( " 0.2%)
	高専・短大卒	171.7千円	( " 1.8%)
	高校卒	153.0千円	( " -0.8%)

第11図 性、学歴別初任給の対前年増減率の推移



男女計では、各学歴で前年を上回っている。

これを男女別にみると、女の高校卒を除くすべての学歴で、男女とも前年を上回っている。

なお、大学卒及び高校卒の増加率は、前年を下回っている。（第11図、第16表、第12図）

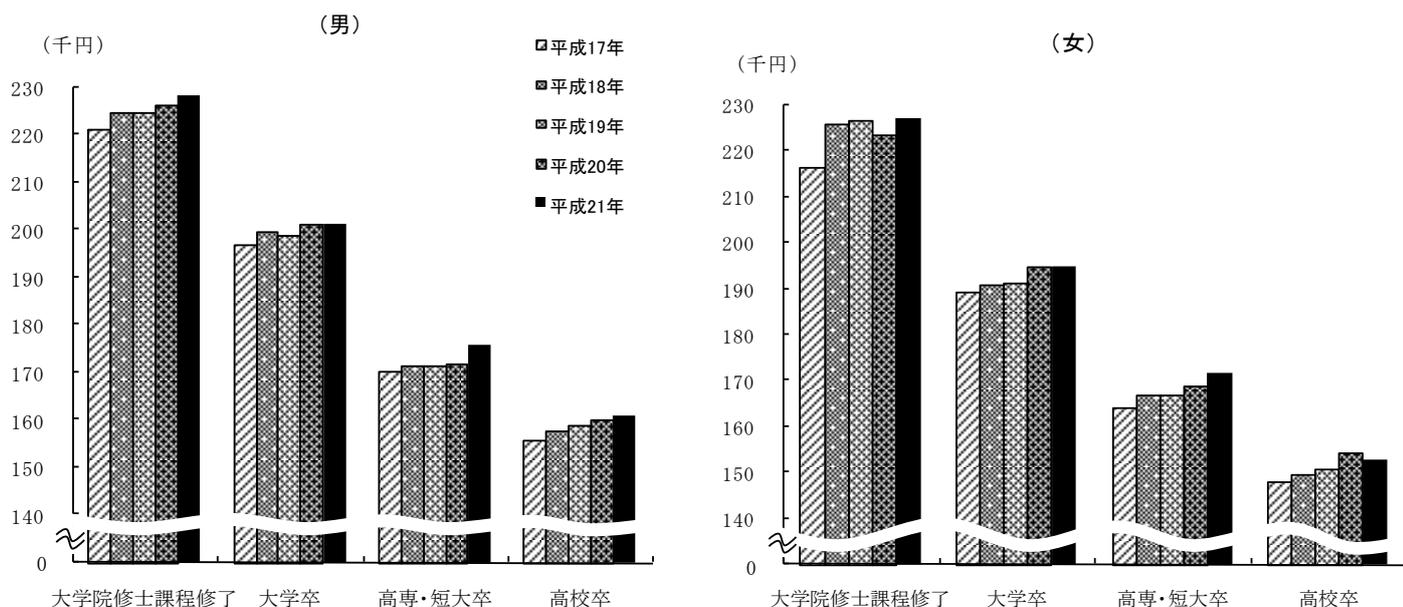
第16表 性、学歴別初任給の推移

年	男女計				男				女			
	大学院修士課程修了	大学卒	高専・短大卒	高校卒	大学院修士課程修了	大学卒	高専・短大卒	高校卒	大学院修士課程修了	大学卒	高専・短大卒	高校卒
平成 17年	千円 220.4 (…)	千円 193.9 (-0.6)	千円 166.6 (0.2)	千円 152.9 (0.2)	千円 221.0 (…)	千円 196.7 (-0.8)	千円 170.3 (-0.2)	千円 155.7 (-0.3)	千円 216.6 (…)	千円 189.3 (-0.1)	千円 164.2 (0.0)	千円 148.0 (0.5)
18	224.8 (2.0)	196.3 (1.2)	168.5 (1.1)	154.4 (1.0)	224.6 (1.6)	199.8 (1.6)	171.2 (0.5)	157.6 (1.2)	226.0 (4.3)	190.8 (0.8)	166.8 (1.6)	149.4 (0.9)
19	225.0 (0.1)	195.8 (-0.3)	168.5 (0.0)	155.7 (0.8)	224.6 (0.0)	198.8 (-0.5)	171.2 (0.0)	158.8 (0.8)	226.7 (0.3)	191.4 (0.3)	166.9 (0.1)	150.8 (0.9)
20	225.9 (0.4)	198.7 (1.5)	169.7 (0.7)	157.7 (1.3)	226.2 (0.7)	201.3 (1.3)	171.6 (0.2)	160.0 (0.8)	223.6 (-1.4)	194.6 (1.7)	168.6 (1.0)	154.3 (2.3)
21	228.4 (1.1)	198.8 (0.1)	173.2 (2.1)	157.8 (0.1)	228.6 (1.1)	201.4 (0.0)	175.8 (2.4)	160.8 (0.5)	227.1 (1.6)	194.9 (0.2)	171.7 (1.8)	153.0 (-0.8)

注:1) ( )内は、対前年増減率(%)である。

2) 大学院修士課程修了については、平成17年から調査している。

第12図 性、学歴別初任給の推移



## (2) 企業規模別にみた初任給

企業規模別の初任給を学歴別にみると、大学卒では、大企業（常用労働者1,000人以上）では男女ともに、中企業（同100～999人）では女で前年を上回っている。一方、中企業では男で、小企業（同10～99人）では男女ともに、前年を下回っている。また、高校卒では、女の中企業及び小企業で前年を下回っている。

初任給の企業規模間格差（大企業＝100）をみると、大学卒では、中企業では男で、小企業では男女ともに格差が拡大している。高校卒では、中企業、小企業ともに女で格差が拡大している。（第17表）

第17表 性、企業規模、学歴別初任給及び対前年増減率、企業規模間格差の推移

性、企業規模			大学院修士課程修了			大 学 卒			高専・短大卒			高 校 卒		
			初任給 (千円)		対前年 増減率 (%)									
			平成21年	20年		平成21年	20年		平成21年	20年		平成21年	20年	
初任給及び対前年増減率	男女計	企業規模計	228.4	225.9	1.1	198.8	198.7	0.1	173.2	169.7	2.1	157.8	157.7	0.1
		大企業	229.3	226.2	1.4	200.4	199.1	0.7	182.3	176.6	3.2	161.4	160.4	0.6
		中企業	227.0	225.4	0.7	199.1	199.4	-0.2	175.0	170.9	2.4	155.6	156.3	-0.4
		小企業	221.3	224.5	-1.4	192.6	194.4	-0.9	165.6	163.9	1.0	156.4	156.9	-0.3
	男	企業規模計	228.6	226.2	1.1	201.4	201.3	0.0	175.8	171.6	2.4	160.8	160.0	0.5
		大企業	229.0	226.1	1.3	203.4	202.0	0.7	179.3	175.5	2.2	162.0	161.3	0.4
		中企業	228.6	226.8	0.8	201.1	201.5	-0.2	177.6	171.5	3.6	158.1	157.8	0.2
		小企業	222.3	225.7	-1.5	195.4	197.9	-1.3	168.2	167.0	0.7	163.3	162.3	0.6
	女	企業規模計	227.1	223.6	1.6	194.9	194.6	0.2	171.7	168.6	1.8	153.0	154.3	-0.8
		大企業	231.8	226.8	2.2	195.9	195.0	0.5	184.9	177.3	4.3	159.6	157.9	1.1
		中企業	222.3	219.5	1.3	196.0	195.5	0.3	173.1	170.4	1.6	152.5	154.3	-1.2
		小企業	219.6	221.7	-0.9	189.6	190.2	-0.3	164.9	163.0	1.2	148.2	151.3	-2.0
企業規模間格差	男女計	中企業	99	100	/	99	100	/	96	97	/	96	97	/
		小企業	97	99	/	96	98	/	91	93	/	97	98	/
	男	中企業	100	100	/	99	100	/	99	98	/	98	98	/
		小企業	97	100	/	96	98	/	94	95	/	101	101	/
	女	中企業	96	97	/	100	100	/	94	96	/	96	98	/
		小企業	95	98	/	97	98	/	89	92	/	93	96	/

注：1) 常用労働者1,000人以上の企業を大企業、100～999人の企業を中企業、10～99人の企業を小企業としている。  
2) 企業規模間格差は、大企業の初任給を100としている。

### (3) 産業別にみた初任給

主要産業別の初任給を学歴別にみると、大学卒では、男は教育、学習支援業（213.2千円）が、女は情報通信業（213.3千円）が最も高くなっている。一方、最も低い産業は、男はサービス業（他に分類されないもの）（190.2千円）、女は運輸業、郵便業（184.9千円）となっている。高校卒では、男は情報通信業（175.3千円）が、女は生活関連サービス業、娯楽業（163.3千円）が最も高くなっている。一方、最も低い産業は、男は教育、学習支援業（146.3千円）、女は金融業、保険業（137.7千円）となっている。（第18表）

第18表 性、産業、学歴別初任給及び対前年増減率の推移

性、産業	大学院修士課程修了			大学卒			高専・短大卒			高校卒			
	初任給 (千円)		対前年 増減率(%)	初任給 (千円)		対前年 増減率(%)	初任給 (千円)		対前年 増減率(%)	初任給 (千円)		対前年 増減率(%)	
	平成21年	20年		平成21年	20年		平成21年	20年		平成21年	20年		
男	産業計	228.4	225.9	1.1	198.8	198.7	0.1	173.2	169.7	2.1	157.8	157.7	0.1
	建設業	223.3	224.7	-0.6	198.3	200.2	-0.9	174.9	175.1	-0.1	167.1	163.6	2.1
	製造業	226.7	227.3	-0.3	200.9	199.3	0.8	174.3	172.5	1.0	158.5	157.9	0.4
	情報通信業	238.4	216.9	9.9	210.9	205.5	2.6	177.3	181.3	-2.2	168.5	161.6	4.3
	運輸業、郵便業	217.5	210.1	3.5	191.7	185.4	3.4	175.1	166.5	5.2	159.9	157.4	1.6
	卸売業、小売業	231.4	233.3	-0.8	198.6	201.9	-1.6	169.2	168.3	0.5	157.6	158.9	-0.8
	金融業、保険業	226.8	216.0	5.0	190.5	190.6	-0.1	160.8	158.1	1.7	139.0	144.7	-3.9
	学術研究、専門・技術サービス業	229.2	237.0	-3.3	209.9	204.7	2.5	168.3	175.1	-3.9	167.7	156.7	7.0
	宿泊業、飲食サービス業	180.3	192.0	-6.1	197.8	190.5	3.8	169.4	163.8	3.4	152.3	155.3	-1.9
	生活関連サービス業、娯楽業	211.7	216.4	-2.2	201.8	206.7	-2.4	165.0	163.4	1.0	164.9	166.8	-1.1
	教育、学習支援業	240.0	228.6	5.0	201.5	202.5	-0.5	171.5	170.8	0.4	152.8	152.8	0.0
	医療、福祉	220.9	215.6	2.5	192.6	193.8	-0.6	177.0	170.1	4.1	145.6	148.4	-1.9
サービス業 (他に分類されないもの)	234.2	218.0	7.4	188.0	197.7	-4.9	167.0	167.9	-0.5	155.9	154.6	0.8	
男	産業計	228.6	226.2	1.1	201.4	201.3	0.0	175.8	171.6	2.4	160.8	160.0	0.5
	建設業	223.2	224.4	-0.5	198.4	201.8	-1.7	175.1	176.8	-1.0	168.5	165.0	2.1
	製造業	226.9	227.6	-0.3	202.1	200.5	0.8	177.0	175.6	0.8	160.1	159.7	0.3
	情報通信業	240.5	216.7	11.0	209.5	206.8	1.3	178.5	182.3	-2.1	175.3	170.4	2.9
	運輸業、郵便業	217.4	210.7	3.2	194.9	190.3	2.4	176.1	167.2	5.3	160.5	158.5	1.3
	卸売業、小売業	231.8	233.9	-0.9	200.2	202.0	-0.9	169.0	168.0	0.6	160.0	158.7	0.8
	金融業、保険業	224.9	214.4	4.9	196.0	196.1	-0.1	174.8	169.3	3.2	155.2	143.7	8.0
	学術研究、専門・技術サービス業	229.0	238.7	-4.1	212.8	205.5	3.6	172.3	179.9	-4.2	171.5	160.4	6.9
	宿泊業、飲食サービス業	* 188.8	* 170.7	10.6	203.4	193.5	5.1	178.0	165.0	7.9	157.9	161.5	-2.2
	生活関連サービス業、娯楽業	215.5	216.3	-0.4	210.9	216.1	-2.4	167.8	170.6	-1.6	168.4	165.5	1.8
	教育、学習支援業	238.1	231.5	2.9	213.2	213.7	-0.2	176.3	174.2	1.2	146.3	157.7	-7.2
	医療、福祉	* 232.7	213.6	8.9	191.9	192.7	-0.4	183.5	167.4	9.6	150.2	150.1	0.1
サービス業 (他に分類されないもの)	230.1	219.6	4.8	190.2	200.0	-4.9	172.3	172.0	0.2	157.3	158.7	-0.9	
女	産業計	227.1	223.6	1.6	194.9	194.6	0.2	171.7	168.6	1.8	153.0	154.3	-0.8
	建設業	225.5	227.3	-0.8	197.1	192.7	2.3	174.5	170.4	2.4	152.5	149.1	2.3
	製造業	224.8	225.1	-0.1	197.5	196.2	0.7	170.4	167.6	1.7	154.1	153.2	0.6
	情報通信業	229.2	218.1	5.1	213.3	202.6	5.3	174.5	179.2	-2.6	156.4	154.4	1.3
	運輸業、郵便業	218.6	203.9	7.2	184.9	176.1	5.0	174.1	165.9	4.9	157.9	153.8	2.7
	卸売業、小売業	230.0	225.2	2.1	195.9	201.6	-2.8	169.5	168.8	0.4	156.5	159.0	-1.6
	金融業、保険業	238.3	223.7	6.5	186.1	185.4	0.4	160.4	157.7	1.7	137.7	144.9	-5.0
	学術研究、専門・技術サービス業	229.8	230.1	-0.1	205.7	203.3	1.2	164.2	169.9	-3.4	158.9	148.2	7.2
	宿泊業、飲食サービス業	* 164.8	197.2	-16.4	192.4	188.1	2.3	162.7	163.1	-0.2	149.6	152.0	-1.6
	生活関連サービス業、娯楽業	* 207.3	* 217.0	-4.5	190.1	197.2	-3.6	163.9	160.4	2.2	163.3	167.4	-2.4
	教育、学習支援業	242.5	223.8	8.4	195.8	197.4	-0.8	171.3	170.6	0.4	154.3	147.9	4.3
	医療、福祉	210.9	217.1	-2.9	192.9	194.4	-0.8	175.6	170.7	2.9	143.9	148.1	-2.8
サービス業 (他に分類されないもの)	239.9	201.6	19.0	185.6	194.1	-4.4	161.6	158.4	2.0	153.0	147.2	3.9	

注：1 産業計には、上掲の産業のほか、鉱業、採石業、砂利採取業、電気・ガス・熱供給・水道業、不動産業、物品賃貸業、複合サービス事業を含む。  
2 「\*」は、新規学卒採用者が少ない等、利用に際し注意を要する。

(4) 初任給の分布

初任給の分布をみると、大学卒では、男女とも20万円台が最も多く、それぞれ41.4%、25.5%となっている。高校卒では、男では16万円台が最も多く(43.4%)、女では15万円台が最も多く(26.8%)となっている。

また、分布の広がりを見ると、大学卒では男女とも、高校卒では女で前年より拡大している。(第19表)

第19表 初任給の階級、性、学歴別新規学卒採用者数割合

初任給の階級	男 女 計				男				女			
	大学院 修士課程 修了	大学卒	高専・短大卒	高校卒	大学院 修士課程 修了	大学卒	高専・短大卒	高校卒	大学院 修士課程 修了	大学卒	高専・短大卒	高校卒
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
～ 109.9				0.1				0.0				0.2
110.0 ～ 119.9				0.7				0.2				1.5
120.0 ～ 129.9			0.6	3.8			0.9	1.7			0.5	7.4
130.0 ～ 139.9			3.5	6.2			2.1	3.5			4.3	10.8
140.0 ～ 149.9		1.4	7.3	11.1		0.9	5.5	7.9		2.1	8.3	16.3
150.0 ～ 159.9		1.8	13.4	26.9		1.3	8.2	27.0		2.4	16.4	26.8
160.0 ～ 169.9	0.2	4.1	20.3	35.8	0.2	2.6	22.1	43.4	0.6	6.4	19.3	23.3
170.0 ～ 179.9	0.7	10.7	22.9	9.0	0.3	7.6	26.6	8.9	2.7	15.2	20.8	9.0
180.0 ～ 189.9	1.1	11.3	14.7	2.3	0.8	9.2	15.6	2.3	2.3	14.3	14.1	2.4
190.0 ～ 199.9	1.8	16.5	7.1	2.2	1.6	16.4	8.4	3.0	2.1	16.5	6.3	0.7
200.0 ～ 209.9	7.4	34.9	4.7	0.9	6.8	41.4	3.9	1.2	10.2	25.5	5.1	0.5
210.0 ～ 219.9	12.3	7.0	1.6	0.9	11.5	7.9	2.5	0.8	16.0	5.8	1.1	1.0
220.0 ～ 229.9	43.6	5.5	1.4		46.5	5.5	1.0		29.5	5.5	1.5	
230.0 ～ 239.9	14.1	2.6	2.7		14.3	2.6	3.3		12.5	2.7	2.4	
240.0 ～ 249.9	10.0	1.1			10.2	1.4			9.4	0.8		
250.0 ～ 259.9	4.4	1.4			3.6	1.6			7.9	1.2		
260.0 ～ 269.9	1.8	0.8			1.5	0.8			3.5	0.9		
270.0 ～ 279.9	1.2				1.1				1.7			
280.0 ～ 299.9	0.4				0.3				0.8			
300.0 ～	1.1	0.9			1.1	0.9			0.8	0.9		
平均額(千円)	228.4 (225.9)	198.8 (198.7)	173.2 (169.7)	157.8 (157.7)	228.6 (226.2)	201.4 (201.3)	175.8 (171.6)	160.8 (160.0)	227.1 (223.6)	194.9 (194.6)	171.7 (168.6)	153.0 (154.3)
第1・十分位数(千円)	208.1 (205.8)	172.4 (173.1)	148.1 (145.1)	138.4 (139.3)	210.3 (206.0)	175.6 (177.1)	151.7 (150.2)	146.1 (142.8)	202.1 (201.4)	168.7 (169.7)	145.8 (143.5)	130.7 (135.0)
中位数(千円)	227.7 (226.7)	200.8 (201.1)	171.4 (170.0)	160.2 (159.5)	227.7 (227.0)	201.8 (201.9)	173.0 (171.8)	161.3 (161.0)	227.8 (224.2)	195.5 (197.4)	170.4 (167.1)	154.2 (155.7)
第9・十分位数(千円)	247.9 (243.2)	221.9 (221.4)	200.5 (193.2)	174.1 (173.6)	244.8 (243.0)	222.1 (221.7)	201.7 (191.2)	175.7 (174.3)	251.8 (244.5)	221.7 (221.0)	200.1 (196.2)	172.1 (172.2)
十分位分散係数	0.09 (0.08)	0.12 (0.12)	0.15 (0.14)	0.11 (0.11)	0.08 (0.08)	0.12 (0.11)	0.14 (0.12)	0.09 (0.10)	0.11 (0.10)	0.14 (0.13)	0.16 (0.16)	0.13 (0.12)

注：1) 百分位数とは、分布の形を示す値である。具体的には、新規学卒採用者を初任給の低い者から高い者へと一列に並べて、低い方から全体の10分の1番目に該当する者の初任給が第1・十分位数、高い方から数えて全体の10分の1番目に該当する者の初任給が第9・十分位数、低い方(あるいは高い方)から数えて全体の2分の1番目(真ん中)に該当する者の初任給が中位数である。

2) 十分位分散係数とは、分布の広がりを示す指標の一つであり、次の算式により計算された数値をいう。一般に、その値が小さいほど分布の広がりの程度が小さいことを示す。

$$\text{十分位分散係数} = \frac{\text{第9・十分位数} - \text{第1・十分位数}}{2 \times \text{中位数}}$$

3) ( ) 内は、平成20年の数値である。

